

ASL

no.2

KANAZAWA ARTSPACE LINK 2016

<http://kanazawartspacelink.tumblr.com>

— 1期 11/3-12/4

美・鑑

— 2期 12/10-1/15

エッジ・実験

— 3期 1/21-2/12

暮らし・デザイン

ART INFORMATION
2016.12.10 — 1.15

「ASL」とは、金沢21世紀工芸祭の一環として「KANAZAWA ARTSPACE LINK」が発行するフリーペーパーです。

金沢のアートを3つの「傾向」でグループ化し、2016年11月から2月までの金沢近郊のアート情報を全3回、3期に分けて紹介しています。



金沢21世紀工芸祭
KANAZAWA 21ST CENTURY CRAFT FESTIVAL

KANAZAWA
ART SPACE LINK

発行：金沢21世紀工芸祭実行委員会
企画・制作：金沢アートスペースリンク
編集：上田陽子 / 金沢アートグミ
デザイン：林 悠樹 / notto

2期 エッジ・実験

金沢のアートスペース各々が日々行動し目指している「傾向」を3つにグルーピングする、第2期のキーワードは「エッジ・実験」。展示される作品の表現形態は単純に綺麗なものばかりではなく、多岐に及んでいます。企画だけでなく運営自体も、アーティストが運営するスペース、私設図書館併設等、模索しながら実験的に行っている印象です。

2期グループ展

9つのアートスペースのグループ展を金沢アートグミにて行います。各スペースでの展示と併せてお楽しみ下さい。

12/10 - 1/15
10:00 - 18:00
会場 金沢アートグミ

金沢市青草町88番地北國銀行武蔵ヶ辻支店3階

定休 水曜、12/28 - 1/4

12/10土 オープニングパーティー (19:00~/参加無料)

参加作家を囲んだトークと「GRAY-REAL」参加作家によるトークイベントを行います。どなたでも参加歓迎です。フード、ドリンクをご用意しております。

[展示作家]

Kapo	オ・セギョン パーク・チョルホ シオン・ユージン サラ・ウェストファル
ルンバルンバ 芸宿	TARTAROS JAPAN キュレーション マツエリホ 伊藤拓郎
THE ROOM BELOW	小島ゆかり
Badass gallery	鍛冶純平
香林坊窟	企画/採集/展示 越田純市 松永紗耶加 吉田健二
山鬼文庫	企画 森仁史
As baku B	赤地健
問屋まちスタジオ	石川県内のアーティスト/ 工芸作家/デザイナー/ 地元企業/高等教育機関



オ・セギョン(アイボウ/ Great Friend)2015年 部分



サラ・ウェストファル(Grensland - Borderland)2009年



TARTAROS JAPAN 個展
Social Symbolism - 社会的象徴 -

12/10sat - 1/15 sun ※金沢アートグミは
12/28-1/4まで休み



TARTAROS JAPAN 個展
Abstract Symbolism - 抽象的象徴 -

12/3sat - 1/15 sun

GRAY-REAL

12/10sat - 12/18sun

オ・セギョン、パーク・チョルホ、
シオン・ユージン
OH SE-KYOUNG, PARK CHUL-HO,
SUNG YU-JIN

同時代における社会の「不安」「憂鬱」「恐怖」「緊張」
を表現する韓国アーティスト3名による展覧会
です。本展は韓国のアートスペース ART HALL
GONGによる日韓交流企画です。

Kapo

住所 金沢市野町3-1-27
営業時間 15:00-19:00
定休日 12/10-12/18のみオープン
駐車場 なし、近隣Pあり

Sarah Westphal 個展

12/10sat - 12/18sun

サラ・ウェストファル
Sarah Westphal

サラはドイツとベルギーで活動を行なうアーティスト
です。AIRプログラム「CAAK & Kapo Creator
in Residence」に参加。滞在制作の成果発表とし
て個展を行います。

Kapo

住所 金沢市野町3-1-27
営業時間 15:00-19:00
定休日 12/10-12/18のみオープン
駐車場 なし、近隣Pあり

TARTAROS JAPAN

ルンバルンバでは2期グループ展にて、TARTAROS
JAPANの作品を紹介致します。通貨交換社会に生き
る人間の意識に社会シンボルの変形が齎す感覚とは？

金沢アートグミ Kanazawa Artgummi

住所 金沢市青草町88番地
営業時間 10:00-18:00
定休日 水曜・12/28-1/4
駐車場 なし

TARTAROS JAPAN

創成期の抽象表現主義の核に信仰的美を見
出す作家の、数と文明、信仰と象徴の変奏
が織りなす新たな美の概念

ルンバルンバ Rempah-Rempah

住所 野々市市本町1丁目29-1
営業時間 11:00-20:00
定休日 水曜
駐車場 4台



キュレーター・スタディ Curator - Study

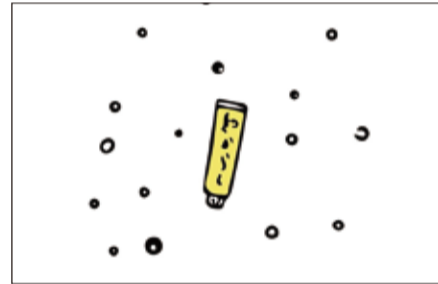
7/18mon - 1/22sun

キュレーション マツエリホ Matsue Riho
作家 今尾拓真 Imao Takuma
岡本孝介 Okamoto Kosuke

マツエリホキュレーションによる展覧会のプロセ
スを追う企画。2017年1月6日(金)-20日(金)
に今尾拓真・岡本孝介の2人展を開催します。

芸宿 ge-Shuku

住所 金沢市石引1-16-28
営業時間 13:00-18:00
定休日 不定休
駐車場 なし



Good Luck

12/16fri - 12/28wed ※22, 23, 24日
は開場

伊藤拓郎 Ito Takuro

鯖の塩焼きの色の犬を最近見た。青魚らし
い外観の配色に焼き目がついた様な毛並み
だった。個展をします。

芸宿 ge-Shuku

住所 金沢市石引1-16-28
営業時間 13:00-18:00
定休日 不定休
駐車場 なし



落花生 Peanuts

12/10sat, 17sat, 24sat, 1/7sat, 14sat

小島ゆかり Ojima Yukari

紙ごりりで作ったモップなどアッサンブラ
ージュ(立体作品)を中心とした小島ゆかりの
最新作を発表します。

THE ROOM BELOW

住所 石川県河北郡津幡町東荒屋186
営業時間 13:00-17:00
定休日 不定休
駐車場 あり



日本の美

12/10sat - 12/23fri

鍛冶純平 Kaji Jumpei

今回のテーマでもある「日本の美」は日本独自の
美しさを、表現しています。
作家、鍛冶純平の一般的でない所から日本の美を
是非お楽しみ下さい。

Badass gallery

住所 金沢市片町2-3-21
営業時間 14:00-20:00
定休日 水曜
駐車場 なし



金沢小噺 ~風習と迷信~

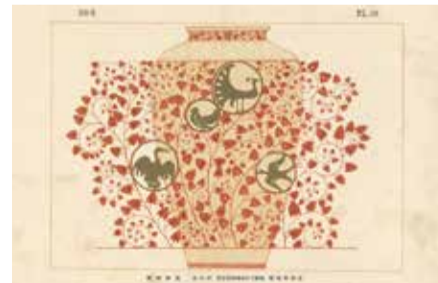
12/10・11, 12/17・18, 12/23-25, 1/7・8のみオープン

企画/採集/展示
越田純市、松永紗耶加、吉田健二
協力
民俗学者 小林忠雄

日々、反復され、伝承されてきた日常の文化は、その
土地の歴史や風土によって育まれてきました。その
中でも金沢の街の暮らしの中で、ひっそりと伝えら
れてきた風習や迷信を体験し、展示します。

香林坊窟 Korinbo-Kutsu

住所 金沢市香林坊2丁目11-27
営業時間 13:00-18:00
定休日 12/10・11, 12/17・18, 12/23-25, 1/7・8のみオープン
駐車場 なし



図案の時代 - 美術か、デザインか

11/25fri - 12/12mon

企画 森仁史 Mori Hitoshi

日本のデザイン萌芽の時代といえる20世紀
初頭。山鬼文庫所蔵の中から、図案集・雑誌
によって「図案の時代」を紹介致します。

山鬼文庫 Sanki Bunko

住所 金沢市桜町5-27
営業時間 10:00-17:00
定休日 火・水・木曜
駐車場 3台



赤地 健 陶展

12/7wed - 12/20tue

赤地 健 Akaji Ken

金沢のなかで息づく作り手であり、私たちに多くの刺激を与え
続けている現代の金沢九谷の作家：赤地 健氏の個展を開催い
たします。自由奔放に輪軸でつくられた大胆なフォルム、独特
の筆運びで描かれる様々な模様は、従来のイメージする九谷焼か
らは大きく外れた、挑戦的で刺激的な作品です。

As baku B

住所 金沢市尾張町2-10-6
営業時間 11:00-18:00
定休日 展覧会開催時のみオープン
駐車場 2台



問×美 2016

1/8sun - 1/15sun

石川県内のアーティスト、工芸作家、
デザイナー、地元企業、高等教育機関

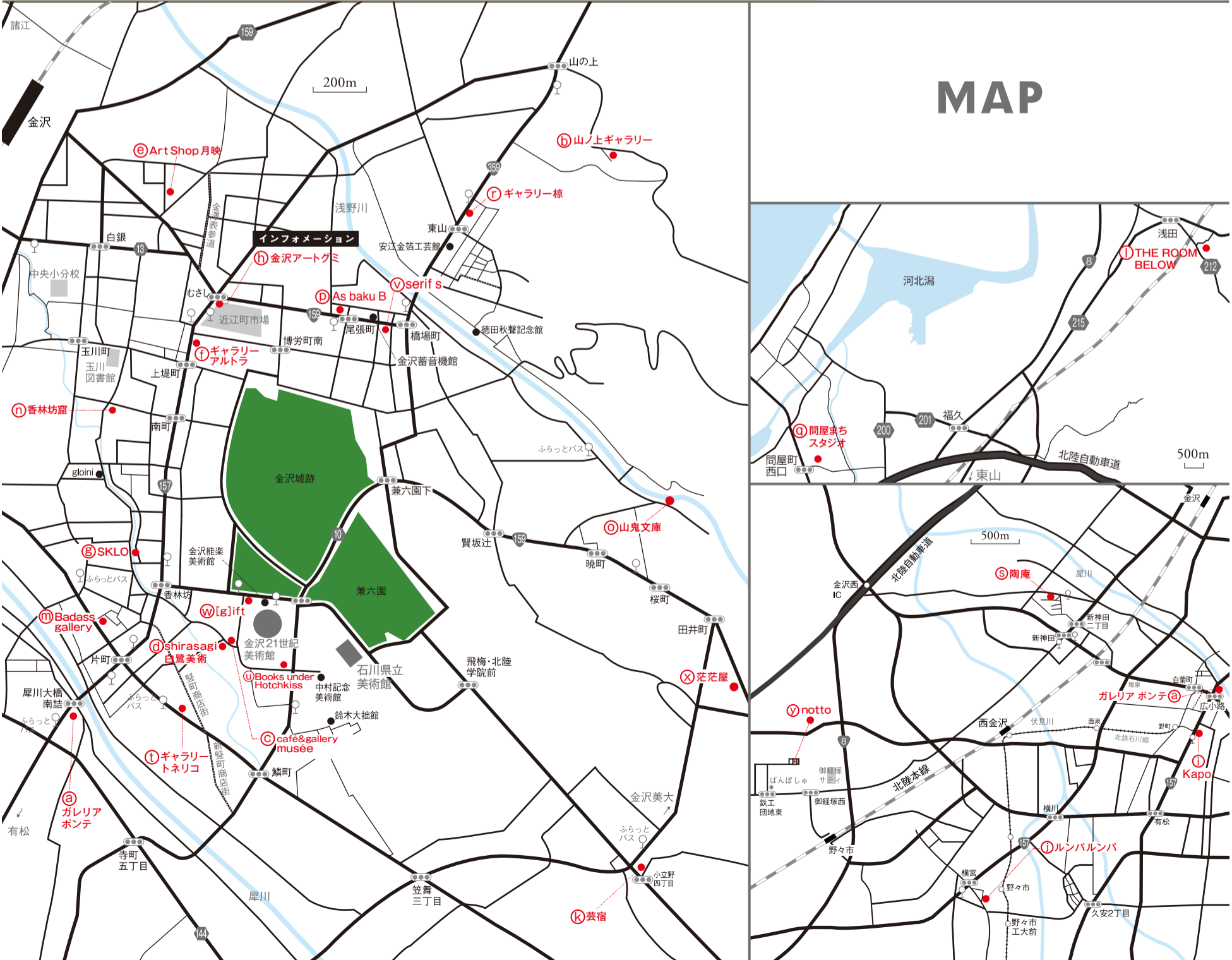
問屋まちスタジオに「茶室の起こし絵」を基にした原寸大の壁
面と床面の構造体を設置します。その茶室内の「間」及び周辺
に現れる「場」に、アーティスト、工芸作家、デザイナー、地元
企業が関わり、異質な素材や先端メディアのマッチングによる
「現代の茶室：工芸建築」を提案します。

問屋まちスタジオ TOIYAMACHI-STUDIO

住所 金沢市問屋町1丁目90
営業時間 11:00-18:00
定休日 展覧会・イベント開催時のみオープン
駐車場 あり

Artspace List

<p>1期 美・鑑 11/3 (木・祝) → 12/4 (日曜)</p> <p>1期グループ展</p>	<p> Galeria Ponte Galleria Ponte 金沢市野町1-1-44 宮本ビル1F -11:00-18:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし、近隣Pあり -http://galleria-ponte.art.coocan.jp 今という時代を感じさせながらも、普遍性のあるアートを企画。</p>	<p>山ノ上ギャラリー Yamanoue Gallery 金沢市山の上町25-8 -11:00-17:00 -定休日 月曜 -駐車場 4台 -http://www4.plala.or.jp/yamanoue_gallery/ 卯辰山中腹にあり四季が感じられる感性豊かで落ち着ける空間です。</p>	<p>café&gallery musée 金沢市柿木島3-1 2F -12:00-19:00 -定休日 木・金曜 -駐車場 なし、近隣Pあり -TEL 076-263-1187 美術館近く、木々の緑と水のせせらぎに包まれたカフェ併設のギャラリー。常時展覧会を開催しております。</p>	<p>shirasagi / 白鷺美術 金沢市柿木島4-16 -20:00-26:00 -定休日 月曜 -駐車場 なし -http://www.shirasagi-art.net 一軒家の1階をバー、2階をギャラリーとして運営。演奏会も企画。</p>	<p>Art Shop 月映 Art Shop Tsukibae 金沢市北安江18-10 -10:00-18:00 -定休日 月曜・年末(12/28-1/3) -駐車場 近隣Pあり -http://tsukibae.com 明治に建築された金澤町家にある「Artを身近に」をコンセプトにしたArt Shopです。</p>	
<p>ギャラリー アルトラ GALLERY ARTRA 金沢市下堤町7-2 -10:00-18:00 -定休日 日曜(企画展の際は不休) -駐車場 なし -http://www.gallery-artra.com 1997年開館。伝統工芸を土台にした新しい感性の作家を紹介。</p>	<p>SKLO 金沢市香林坊2-12-35 -11:00-19:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし -http://sklo.jp SKLOでは、3F展示スペースを使って年に数回企画展を行っています。</p>	<p>金沢アートグミ Kanazawa Artgummi 金沢市青草町88番地 北国銀行武蔵ヶ辻支店3階 -10:00-18:00 -定休日 水曜・12/28-1/4 -駐車場 なし -http://gallery.artgummi.com 2009年に開館。現代美術を中心に市民からなるNPO法人が企画・運営を行う。</p>	<p>2期 エッジ・実験 12/10 (土曜) → 1/15 (日曜)</p> <p>2期グループ展</p>		<p>Kapo 金沢市野町3-1-27 -15:00-19:00 -12/10-12/18のみオープン -駐車場 なし -http://kapolog.com アーティスト・インシアチブで運営するアート・コミュニティです。</p>	<p>ルンパルンパ rempah rempah 野々市市本町1-29-1 スマイリー1F -11:00-20:00 -定休日 水曜 -駐車場 4台 -https://www.facebook.com/rempahrempahball 2011年開館。現代アート、工芸を中心に企画展を開催。県内外を問わず新進気鋭の作家の実験の場として機能している。</p>
<p>芸宿 ge-Shuku 金沢市石引1-16-28 -不定 -定休日 不定休 -駐車場 なし -https://www.facebook.com/geshuku/ 自分にとって、また誰かにとって都合のいい場所。</p>	<p>THE ROOM BELOW 河北郡津幡町東荒屋186 -13:00-17:00 -定休日 不定休 -駐車場 あり -https://www.facebook.com/theroombelow.artgallery/ アーティストが運営する画廊でアウトサイダーアートを扱う。</p>	<p>Badass gallery 金沢市片町2-3-21 -14:00-20:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし -https://www.facebook.com/Badass-Gallery-1575349916087069/ 日本独自の美を追求していきたく動きます。是非CHECKして下さい。</p>	<p>香林坊窟 Korinbo-Kutsu 金沢市香林坊2丁目11-27 -13:00-18:00 -12/10・11、12/17・18、12/23-25、1/7・8のみオープン -駐車場 なし -Facebookページあり 2010年に多様な人間と活動が集まる場を目指して始めました。</p>	<p>山鬼文庫 Sanki Bunko 金沢市桜町5-27 -10:00-17:00 -定休日 火・水・木曜 -駐車場 3台 -sankibunko.com 山鬼文庫は築百年の町家、美術本の図書館兼ギャラリーです。</p>	<p>As baku B 金沢市尾張町2-10-6 -11:00-18:00 -定休日 展覧会開催時のみオープン -駐車場 2台 -as-baku.com 2010年に開館。工芸を中心に、金沢在住の作家らが企画・運営を行う。</p>	
<p>問屋まちスタジオ TOIYAMACHI-STUDIO 金沢市問屋町1丁目90 -展覧会開催時のみオープン -定休日 不定休 -駐車場 あり -http://toyamachi-studio.com 金沢美術工芸大学と協同組合金沢問屋センターが協定を締結、旧印刷工場を活用してオープン。</p>	<p>3期 暮らし・デザイン 1/21 (土曜) → 2/12 (日曜)</p> <p>3期グループ展</p>		<p>Gallery 椋 Gallery Muku 金沢市東山2丁目1-7 -11:00-17:00 -定休日 木曜 -駐車場 6台 -http://gallerymuku.com 明治の佇まいを残す金澤町家のギャラリー。高い吹き抜けの土間と座敷で展示スペースをなっている。カフェも併設。</p>	<p>陶庵 to-an 金沢市入江2-401 -13:00-21:00 -定休日 木曜 -駐車場 6台 -http://to-an.jp 1Fは陶芸工房、2Fはカフェギャラリー</p>	<p>ギャラリー トネリコ Gallery Tonellico 金沢市池田町3-30 -11:00-18:00(最終日は17:30まで) -定休日 火曜 -駐車場 なし -http://www2.spacelan.ne.jp/~tonellico/index2.html 金沢のまちなかで、色々なジャンルの展覧会を開催しています。</p>	<p>Books under Hotchkiss 金沢市広坂1-9-11 -11:00-20:00 -定休日 月曜 -駐車場 1台 -http://booksunderhotchkiss.com アーティストの頭の中を、本によって覗くことができる、金沢の新しい本屋です。</p>
<p>serif s 金沢市尾張町1-8-7 -平日/11:00-19:00 -土日/12:00-18:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし -http://serif-s.com 本とギャラリーでつくるタイポグラフィ専門の古書店&ギャラリー。</p>	<p>[g]ift / ギフト金沢 [g]ift KANAZAWA 金沢市広坂1-2-18 1F -10:00-18:00 -定休日 月曜(祝日の場合は翌平日) -駐車場 なし -http://www.gift-hokuriku.jp メイドイン北陸のいいものを集めた魅力満点のセレクトショップ。</p>	<p>茫茫屋 Boboya 金沢市天神町1-18-8 1F -11:00-18:00 -定休日 水・木曜 -駐車場 3台 -http://www.boboya-kanazawa.com やきもの・器の店。日常の器からこだわりの逸品まで。</p>	<p>notto 白山市横江町1244-7 -13:00-19:00 -定休日 月～土曜 -駐車場 4台 -http://www.notto.jp 「遠景と手元」をコンセプトに、デザインオフィス、セレクトショップ、版画工房を運営しています。</p>	<p>Note ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ASL no.2に記載している各期以外の時期に、展覧会を行っているアートスペースがあります(例:1期グループのギャラリーが2期、3期の時期に展示)。気になる方はお問合せください。 各スペースでの企画展自体は、3のキーワード「美・鑑」「エッジ・実験」「暮らし・デザイン」に必ずしも沿っている訳ではありません。 		



KANAZAWA ARTSPACE LINK 2016

金沢アートスペースリンクは2012年に発足した、金沢市近郊に点在するギャラリー、アートスペースの寄せです。メンバーを特定せず年1回のペースで企画を行ってきました。

5年目となる今年は「金沢21世紀工芸祭」の1コンテンツとして、2016年11月から2017年2月の4か月間、「金沢アートスペースリンク2016」を開催します。金沢の美術シーンがいきいきと対流していくための土壌づくりを目的とし、アートスペース各々が、日々行動し目指している「傾向」を3つにグルーピングし、金沢アートグミでのグループ展等を行います。金沢21世紀工芸祭は5ヶ月の“期間”がありますが、私たちの営みは前にも後にも続いています。本企画は、アートスペースの個を発見すること、新しい出会いの機会をつくること、そして、それぞれが目指す「傾向」から金沢の未来を思い見る試みです。

1期 美・鑑

11/3—12/4

“金沢で、うつくしい表現を考える。”

工芸を中心に扱うスペースが多く、コンスタントに堅実な企画を行っています。

ギャラリー ポンテ / 山ノ上ギャラリー / café&gallery musée / shirasagi 白鷺美術 / Art Shop 月映 / ギャラリー アルトラ / SKLO / 金沢アートグミ

2期 エッジ・実験

12/10—1/15

“中心と周縁。表現とは綺麗なもののばかりではなく、多義的なものだ。”

アーティスト運営スペース、私設図書館やバー併設など実験的な企画運営を行うスペースを集めました。

Kapo/ルンパルンバ / THE ROOM BELOW / Badass gallery / 芸宿 / 香林坊窟 / 山鬼文庫 / As baku B / 問屋まちスタジオ

3期 暮らし・デザイン

1/21—2/12

“暮らしの中にあるうつくしさは、気持ちを柔らかくする。”

作家の作品だけでなく普段使いのもの、デザインや書籍にも目が向いたスペース群です。

Gallery 椋 / 陶庵 / ギャラリートネリコ / [g]ift ギフト金沢 / Books under Hotchikiss / serif s / 茫茫屋 / notto

Kanazawa Art Space Link is an association of galleries and art spaces in Kanazawa and nearby areas. We have been carrying out art projects once a year without specifying the participants.

This is the fifth year of our association, and we will hold “Kanazawa Art Space Link 2016” as part of “Kanazawa 21st Century KOGEI Festival,” which will run for four months, from November 2016 to February 2017. The purpose of our event is to facilitate communication in the Kanazawa art scene. Art spaces are categorized into three groups according to their trends and objectives, and group exhibitions will be held at Kanazawa Artgummi.

Although “Kanazawa 21st Century KOGEI Festival” will be held for a fixed period, our activities start before and continue after the festival. We will try to find the particularities of art spaces, create occasions for meeting new people, and get an idea of the future of art in Kanazawa, based on exhibition trends.

金沢アートスペースリンク2016

期間 2016年11月3日～2017年2月12日

参加スペース 25

お問合せ 金沢アートスペースリンク (tel 076-225-7780)

web <http://kanazawartspacelink.tumblr.com>

金沢21世紀工芸祭

コンテンツ 趣膳食彩 / 工芸回廊 / 金沢みらい茶会 / 金沢みらい工芸部 / 金沢アートスペースリンク

主催 金沢創造都市推進委員会 金沢市

共催 公益社団法人金沢青年会議所 NPO法人趣都金澤

金沢アートスペースリンク

事務局 金沢21世紀工芸祭実行委員会 (株式会社ノエチカ内)

web <http://21c-kogei.jp>



平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2016



上品な文化都市? / 金沢の存在感

黒澤 伸

プロフィール

1959年東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了。1989年より水戸芸術館現代美術センター、1999年より金沢21世紀美術館と、2つの美術館の立ち上げに学芸員として関わる。専門は美術館教育で、レジデンス・プログラムやコミッションワークなどの、アーティストと観客がダイレクトに関わるプログラムを数多く制作。現在は金沢市の工房・研修施設である金沢湯涌創作の森所長を務める。

冷戦終結以降の90年代、関係者の間では、既にクラシカルなコンテンポラリーアートの時代は過ぎ去って、今後は不可逆的にバロック・マニエリスムの世界に突入するなど呑気にも語られていたがまさしくその通りで、新しいものを生み出すというよりは既にあるものを使い回し、ハイブリッド&多様なプロジェクトが既視感・未視感入り乱れて融合&分岐、また、モノ→(より)コト→(さらには協働的)関係×相互作用といった流れも確実に環境化して、しかしこれは金沢に限ったことではなく今の世界的な潮流だろう。

金沢という都市にとってはこの間の、2004年の金沢21世紀美術館開館、2015年の北陸新幹線開業が大きなエポックを画していることに異論はないだろうけれど、それぞれが2001.9.11、2011.3.11という圧倒的な破壊を経験した後でスタートしている

ことも思い出される。すなわち直接の被害を免れ得た都市であればなおのこと、再構築する以外にないこの時代に敢然と立ち上がる気概を持つと、と考える金沢人はしかし…多くはないかもしれない。とはいえ今年金沢市は「文化創世新戦略2020」を策定し、そこでは「文化都市としての世界的な存在感を確立する」という大胆不敵な目標を掲げている。

確かに(アートばかりではなく)文化とその周辺のあらゆるアクションは目に見える形で活性化していて、この街も「にわかに忙しくなってきた」と思う、これは素直な実感だ。それらはおしなべて上質でお洒落で小気味良く、行儀も品も良いもの、ではない、にせよ、強烈な問題提起を孕むもの、得体の知れないものが溢れ出る混沌とした状況である、とまでは言いにくい。つまり、まだあまりヤバくない。はたしてこの延々と続く

が如く上品さが金沢アート?…というか、ぐじゃぐじゃのカオスに身を置く覚悟なくして文化都市としての世界的な存在感の確立は可能なのだろうか?

私自身はしかしこの土地柄の上品さの一面剥いだ裏側に、隠蔽された抑圧的・自閉的でグロテスクな極彩色の閃光=『狂気』を垣間見る。いや、気のせいですが…アートの本質なんて目に見えるものじゃない。しかしそのつき纏う亡霊の如きナニモノかがアーティストを突き動かすことは確かだ。そもそも都市の文化とは、異なるアイデンティティを持つ異邦人たちが凭ってたかっていけしゃあしゃあと積みあげてゆく結果であって、その際、土地柄は摩訶不思議な触媒のような働きをする。さて、どうする金沢?。とまれ、まだ過渡期だ。

A Refined City of Culture? / Kanazawa's Identity

In the 1990s, after the end of the Cold War, people in the field of art were saying that the period of classical contemporary art was already over, and we were expected to irreversibly burst into the world of baroque mannerism. As expected, rather than creating completely new works, artists are now recycling already-existing objects to create hybrid and many-faceted projects that impart a sense of déjà vu or jamais vu. Works of art are characterized by jumbling, blending and bifurcation, and there is a definite trend of transitioning from things to phenomena, and further to relationships and mutual effects. However, this is not limited to Kanazawa; it seems to be the present-day worldwide trend.

Nobody would deny that for the city of Kanazawa, the 2004 opening of the 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa, and the 2015 opening of the Hokuriku Shinkansen railway line were epoch-making events. However, one must remember that both of these achievements took place after we experienced the overwhelming devastation of September 11th, 2001 and March 11th, 2011. Kanazawa being a city that escaped direct damage, in this age when the only thing to do is to rebuild, we should have the courage to get back on our feet; however, there may be few Kanazawa residents who would think in such a way. That being said, this year the city of Kanazawa is drawing up its “New Strategy for the Creation of Culture 2020,” which includes the fearless goal of “establishing an international presence as a cultural city.”

It is a fact that culture (not only art) and the various activities are visibly becoming more dynamic, and I believe this city also “has suddenly become busy.” This is my honest impression. We cannot say that all of those are high-quality, stylish and sharp, with good behavior; however, we are not in such a terrible condition that severe problems are arising and something weird is overflowing in a chaotic manner. In other words, there are not yet revolutionary changes. How long will we continue to pursue this refinement in Kanazawa art? Or rather, is the establishment of an international presence as a cultural city possible without taking a stand in a messy state of chaos?

I have a glimpse of the buried, repressive, closed-off, grotesque, richly colored spark of light = craziness that is one layer beneath the refinement of this place. No, it's just my imagination... The true nature of art is not something that can be seen with the eyes. However, it is definitely something like this haunting apparition that motivates artists. After all, the culture of a city is created through the activities of strangers with different identities, and in the process, the locality serves as a magical catalyst. Well, what will you do, Kanazawa? Wait, you are still in a period of transition

Shin Kurosawa

Column